

# 麻黄湯を使う



## 麻黄湯 (傷寒論)



麻黄



杏仁



甘草



桂皮

### 保険適応病名・病態

#### a 効能または効果

悪寒、発熱、頭痛、腰痛、  
自然に汗の出ないものの次の諸症：  
感冒、インフルエンザ（初期）、  
関節リウマチ、喘息、乳児の鼻閉塞、哺乳困難

#### b 漢方的適応病態

表寒・表実。すなわち、悪寒、無汗、発熱、頭痛、  
身体痛、咳嗽あるいは呼吸困難、口渇がないなどで、  
鼻閉、鼻汁、ふるえを伴うことが多い。



## 麻黄湯が著効した例

6才男児。

昨日昼から夕方まで屋外でサッカーをやっていた。

今朝から37.9℃、食欲なし、元気なし、水分が摂れない、機嫌悪い

外来受診。38.6℃、咽頭発赤軽度、扁桃肥大Ⅱ度

胸部聴診異常なし、腹部異常なし、汗をかいていない、やや元気がない。

急性扁桃炎と診断した。嘔気が強く水分が摂れないため、

(17)五苓散を注腸し、補液をした。

家族から明日から旅行に行く予定だと。

### 経過

帰宅後、水分が摂れるのを確認し、漢方薬の内服を開始した。

(27)麻黄湯+(28)越婢加朮湯を2時間おきに4回飲んだ。

翌朝解熱し、嘔気もなし、元気が出てきたため、(109)小柴胡湯加桔梗石膏に  
内服を切り替えて旅行に行った。



## 小柴胡湯加桔梗石膏 (本朝経験方)



柴胡



半夏



黄芩



大枣



人参



甘草



生姜



桔梗

### 保険適応病名・病態

#### a 効能または効果

体力中等度の人で、微熱があり、  
心窩部より季肋部にかけての  
苦悶感（胸脇苦満）、  
食欲不振などを訴える場合に  
用いる上気道の亜急性ないし  
慢性の炎症性疾患

#### b 漢方的適応病態

和解半表半裏・清熱



(17)五苓散は、嘔気、嘔吐、下痢に有効です。

特に口渇があるときに有効です。

小児で内服が困難とされるときは、微温湯で溶かして  
ネラトンチューブでお尻から注入します。

逆流もせず20分位で嘔気、嘔吐がおさまります。



麻黄湯は単独で使っても十分効果が出ますが、インフルエンザなどの  
強力な感染症のときには、強い生体側の応答を引き起こして対抗します。

麻黄湯+越婢加朮湯は「大青竜湯」という漢方薬の近似処方です。

①発熱、②無汗、③まだ元気が残っている、という条件のもと、  
短期間(せいぜい2日間)だけ使用します。

小児は2時間おき、大人は3時間おきで内服します。

①解熱傾向あり、②発汗あり、③排尿ありのどれかを認めたら、  
ただちに内服を中止します。



## お知らせ

岐阜市の漢方外来 3月11日(土)、25日(土)  
14:00 - 17:30 中島小児科 (岐阜市鍵屋東町2の1)

小児夜間急病センター当番日  
3月18日(土) 19:30 - 22:30 (受付) 岐阜市民病院

休診日 3月15日(水) 都合により休診します。